



高山村立高山中学校

学校だより No. 5

令和5年12月25日

二学期終業式 新津 朋典 校長先生の講話

二学期終業式 学校長の話

二学期を振り返って～実りの多い学期になりました～

令和5年も残りあとわずかとなりました。8月、夏のまだ暑い日から始まった二学期もいつの間にか、冬の寒い日となり今日、二学期を終えようとしています。

高山村は、寒さが日増しに厳しくなっていますが、みなさんも体調にはくれぐれも注意してください。特に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症には十分注意してください。

二学期は高山中学校最大の行事である紅葉祭があったり、中学生議会があったりしました。それぞれの行事の時に、お話したように、みなさんのとても頑張っている姿や活躍している姿がたくさん見られました。また、人権教育月間もありました。同和問題を中心に人権に関する学習を深めることができました。正しい知識から理解を深め、思いやりの心を持って生活しよう、という気持ちを高めることができましたと思います。また、各学年の「思いやりの木」にも目標が書かれた、たくさんの葉が付けられると共に、月間を終える時には実行できたことについて書かれた、たくさんの花が付けられていました。学んだことを活かし、友達に優しい声がけができたり温かく接することができたりしたのだなあ、とうれしく思いました。どの場面でも、クラスや学年そして全校生徒がみんなで支え合いながら、頑張っている姿がたくさん見られたなあ、高山中学校の生徒はみんな目標に向かって頑張っていて、すごいなあ、と思いました。充実した学習ができた、実りの多い2学期となりました。



思いやりの木

さて次に、人権の学習に関わり、戦争についてのお話をしたいと思います。以前からお話ししているように、人権侵害の最悪のものは、「戦争」だといわれています。ロシアによるウクライナへの侵攻に関しては、2年近く戦争が続いていますが、残念ながらまだまだ終わる気配はありません。それに加え、今年はさらにもう一つ、大きな戦争が始まってしまいました。今年の10月以降、連日テレビや新聞、インターネットのニュース等で報道されている、イスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘です。ハマスによるイスラエル人拉致の様子、またイスラエル軍による爆撃の様子やそれによって被害を受けたパレスチナの人々の様子、特に心が痛むのは、親や兄弟を傷つけられ泣き叫ぶ小さな子ども達の様子を皆さんもテレビで見たことがあると思います。

社会科の授業でも学習していると思いますが、今日は少しだけ私からもお話ししたいと思います。この戦闘が始まってしまった原因については、イスラエルの人々であるユダヤ人とイスラム組織ハマスを構成しているアラブ人であるパレスチナの人々、との2000年以上もの昔からの対立があります。現在のイスラエルやパレスチナの人々が住んでいるこの土地には、

時代によって、ユダヤ人が住んでいたアラブ人が住んでいたりました。そのことが原因なのですが、現在の決定的な対立の元は、第一次世界大戦中に、イギリスがユダヤ人に対し戦争の味方になってもらうために、「大戦後この土地にユダヤ人のための国をつくることを認める」という約束をしたにもかかわらず、アラブ人に対して



美術部 制作 クリスマス飾り

も「大戦後にアラブ人の国をつくることを認める」という約束、さらに、この土地はイギリス、フランス、ロシアで分割する、という3つの矛盾した約束をしたことが原因とされています。これはイギリス3枚舌外交、とも言われています。それぞれに対し、都合の良い約束をしたのです。世界中にバラバラになっていたユダヤ人達は、この土地に自分たちの国ができる。またアラブ人達も当時支配されていたオスマントルコ帝国から独立し自分たちの国をつくることできる、と考えイギリスに協力しました。そして、その後、第二次世界大戦が発生します。この時ドイツやその周辺の国々に住んでいたユダヤ人達は、ドイツのヒトラー率いるナチスによってひどい迫害を受けます。ホロコーストと呼ばれるこの迫害ではユダヤ人600万人が虐殺されたとも言われています。この事は、アンネの日記やアウシュビッツの毒ガス室のお話などから知っている人も多いのではないのでしょうか。第二次大戦終結後、この大虐殺もあったことから国際連合はパレスチナの土地にユダヤ人の国であるイスラエルの建国を認めます。この建国に対し、不満を持ったのがアラブ人達です。このことからイスラエルとアラブ人の戦争、中東戦争となってしまいます。中東戦争はその後第4次中東戦争まで続きます。特に第4次中東戦争では、アラブの国々は石油産出国が多く、石油の輸出を制限したことから、オイルショックという形で日本にも大きな影響が出ます。日本では石油製品の急激な値上がりや不足と共に、なぜかトイレットペーパーが不足し多くの人々が影響を受けました。その後、「オスロ合意」がなされ、イスラエルとアラブ人が折り合いを付けようとしたこともあったのですが、それもうまくいきませんでした。このようにして、ユダヤ人とアラブ人の憎しみの連鎖はずっとずっと続いてきています。そして、10月7日、ハマスがイスラエルを攻撃し、イスラエルはその報復のために、先ほどお話ししたような悲惨な爆撃や攻撃を続けているのです。

この問題の解決のためにはどうしたら良いのでしょうか？決定的な解決策はなかなか実現しそうもないのですが、やはりこのパレスチナの土地にユダヤ人の国であるイスラエルとアラブ人の国の二つが共に存在していくことだ、と言われています。どちらか一方の国だけにしてしまえば、もう一方の人々はこのパレスチナの土地を離れなければなりません。それを避けるためにも両方の人々がこの土地にそれぞれの国をつくり、共に折り合いをつけながら共存していくことが必要なのだそうです。ユダヤ人もアラブ人もお互いに平和に暮らす、そういった願いをもっている人も多いはず。そういう考えがお互いに広がるのが、この血で血を洗う争いを解決してくれるのかも知れません。人道的にも、ぜひこの戦闘を早く停止し、パレスチナの地に平和が訪れることを願うばかりです。



おやじの会 制作 門松

さて、いよいよ明日から年末年始休業に入ります。ご家族のみなさんと、行く年を振り返り、来る年への思いを語り合う機会をぜひ持って欲しいと思います。少し早いですが、よいお年をお迎えください。以上で終業式の挨拶とします。

二学期終業式 各学年代表生徒の発表より

二学期に頑張ったこと

1 学年 代表生徒

僕は二学期に頑張ったことが2つあります。

1つ目は授業です。特に技術・美術・体育をがんばりました。小学校のときは技術と美術はない教科だったので初めての授業は正直「めんどくさい」と思っていました。しかし、授業を受けてみると思っていた以上に面白くなりました。技術ではくぎ打ちなどでミスをしたら友達がアドバイスをしてくれたり、手伝ってくれたりして完成させることができよかったです。美術では、もともと絵を描くのが苦手だったけど友達や先生のアドバイスのおかげで苦手じゃなくなったのでよかったです。体育では、小学校の時にはテストがなかったのにびっくりしました。授業を楽しむだけでなく、教科書や先生の話をしっかり見たり聞いたりしないといけないので苦戦しました。なんとかできているのでよかったです。

2つ目は生徒会です。小学校のときは児童会だったので一学期は緊張していましたが、二学期は緊張せずにできたのでよかったです。しかし、自分の役割を忘れてしまったことがあったので三学期には役割などを忘れないようにしたいです。

三学期では技術・美術・体育だけがんばるのではなく、数学や国語などもがんばって充実した三学期にしたいです。

二学期を振り返って

2 学年 代表生徒

私が二学期思い出に残ったことは、体育祭での大縄です。最初は二十七人全員で跳ぶことは難しく、うまくいかないときがたくさんありました。体育の時間以外にも練習して、跳び終わったら改善点を言い合って、縄を廻す人も先生もみんなで試行錯誤して一生懸命取り組みました。

跳ぶタイミングを合わせるために男子と女子とで目で合図を送ったり、お互いの様子をよく見たりすることで、クラスのまとまりも感じられ、ただ跳ぶだけのことが楽しく感じられました。当日は今までの最高記録が出せ、全校二位にもなれてとても嬉しかったです。

反省はテスト勉強を計画的に進められなかったことです。これは一学期に続く反省でもあります。計画を立てられていても、実際にテスト期間に入ったら、やりたくないと思ってしまい、毎回テスト勉強の時間が短くなってしまい、テストでいい結果が出せていなかったです。一学期の反省が二学期の反省にもなっ



紅葉祭 全校運動

まったので、もっと意識が必要だと思いました。そして、もうすぐ三年生になるので、テスト勉強を計画的にやる力をつけないといけないとこの時期になってより気づかされました。

二学期もいろんなことを学んで、反省も生まれました。二学期は三つの学期の中で一番長いけれども、あっという間に時間が過ぎてしまいました。だから中学を卒業するまでの時間を大切にしようと思いました。

三年生にとって、「中学校最後の」という言葉がつく行事が一つずつ終わっていき、長いはずの二学期があっという間に過ぎ去りました。

紅葉祭では、全校運動の大縄跳びと総力リレーで、日ごろから積み重ねてきた練習の成果やお互いの声かけなど、三年間で築いてきた絆の力で、一番良い結果を出すことができました。

また、音楽会では、クラスの一人一人が届けたい思いをしっかりとって歌声を響かせることができました。私だけではなく、みんなにとって思い出に残る最高の紅葉祭になったと思います。

紅葉祭が終わると、クラス全体が受験に向け、それまで以上に学習に打ち込む雰囲気になりました。また、毎月のテストに加え、自分で進路選択をしていかなければならないという、今までと大きく変わった状況になりました。そのような中で、うまくできないところもありながら、皆、隙間時間を有効活用したり、計画を立てたりして、自分がやるべき学習を積み重ねていました。私も、今までの学校生活で得てきた力を発揮できるように、自分を奮い立たせていきたいです。そして、残りの短い時間の中で、自分の未来へ向かって進んでいけるよう精一杯努力していきたいです。



紅葉祭 生徒会企画

保護者のみなさま、地域のみなさまをはじめ、本当に多くのみなさまに支えられて二学期を終了することができました。感謝申し上げます。ありがとうございました。三学期もよろしくお願いいたします。



福祉体



たてわり清掃



SOS 出し方講演会

○12月26日～1月8日まで年末年始休業です。入院・事故等に遭われた場合は、学校へ連絡をください。なお、12月29日～1月3日及び土日は、学校閉庁日です。その間は、**高山村役場026-245-1100**までご連絡ください。



高山村立高山中学校

〒382-0825 上高井郡高山村大字高井 4575

TEL 026-245-0948/050-3565-7305 FAX 026-246-5007

URL <http://www.takayama-j.ed.jp/>

担当 竹下あき子 (教頭)